

株式会社 構造ソフト

今月のイチオシ

2023年12月号

拡張情報

「BUILD.一貫VI」(Ver.1.13、1.16、1.17) …P1

Q&A (適判等からの指摘事例)

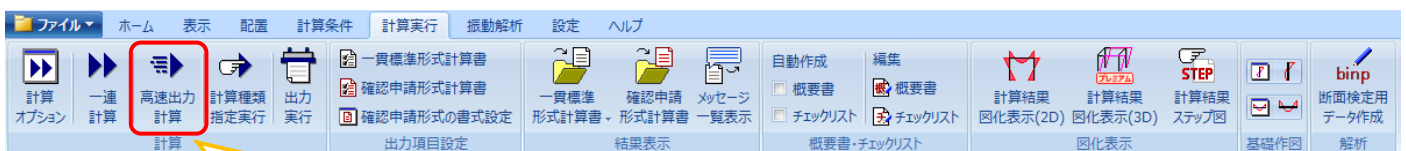
「BUILD.一貫VI」Q&A …P4

◆「BUILD.一貫VI」(Ver.1.13、1.16、1.17)

・一貫標準形式計算書の確認が素早く行える「高速出力計算」機能を追加

2023年8月にリリースした「BUILD.一貫VI」(Ver.1.13)より、一貫標準形式計算書の確認が素早く行える「高速出力計算」機能を追加しました。保有水平耐力計算時の図化用出力ファイル(ステップ図、計算結果の図化表示(3D))の作成を行わないことで、一連計算の計算書出力までにかかる時間を減少させた計算実行モードになります。試設計の計算結果を計算書で確認する際に便利です。

1. [計算実行] タブをクリックします。



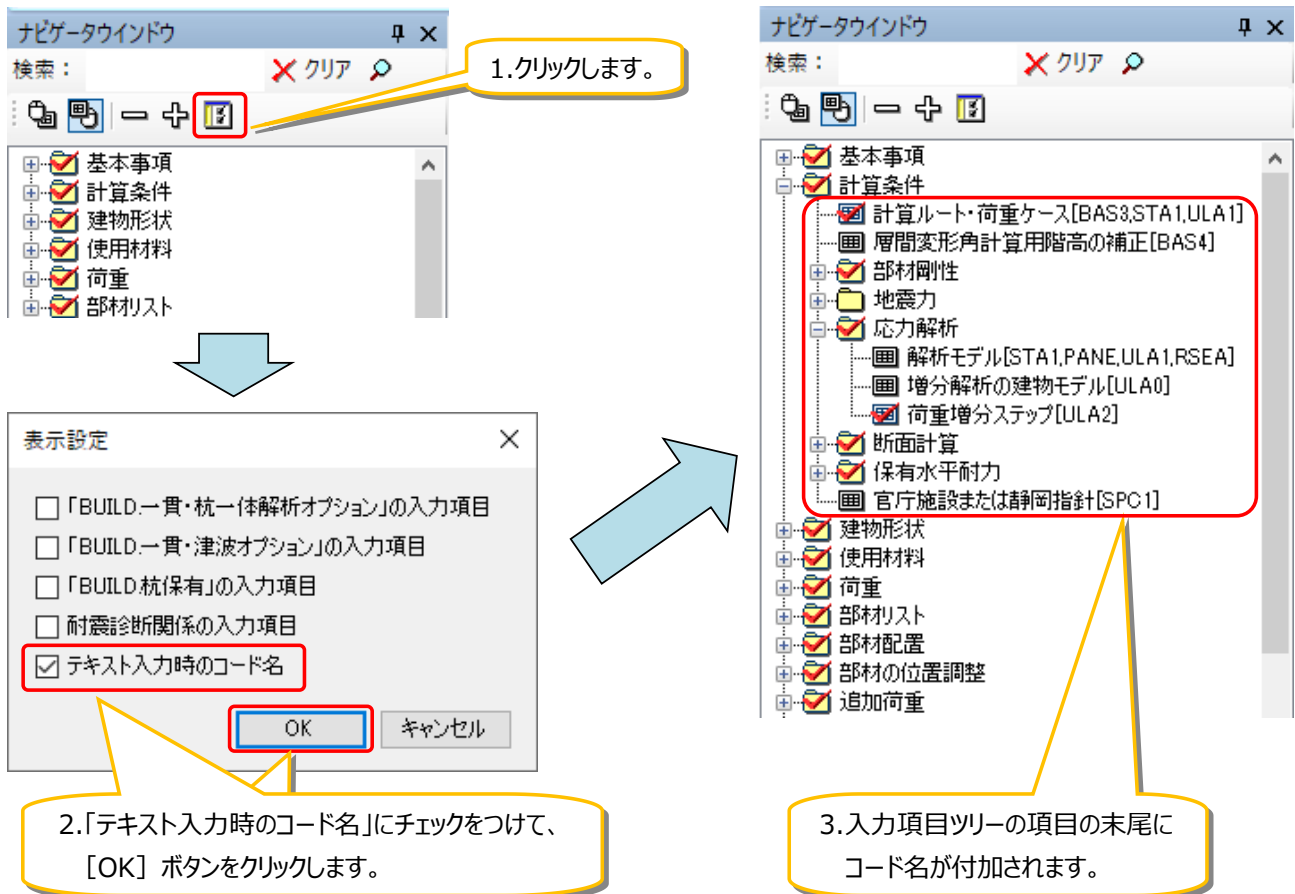
2. [高速出力計算] をクリックして計算実行します。

保有水平耐力計算時の図化用出力ファイル(ステップ図、計算結果の図化表示(3D))の作成ありで一連計算した場合と、「高速出力計算」で実行した場合を比較すると、計算書出力までにかかる時間が約20%~40%減少します。

	規模	時間
R C造物件	4×6×4	約40%減少
S造物件	4×4×6	約20%減少

・入力項目ツリーに表示する項目にコード名を付加

「BUILD.一貫VI」(Ver.1.17)より、入力項目ツリーに表示する項目にコード名を付加できるようになりました。以前より「BUILD.一貫」シリーズをご使用の方で、入力内容をコード名で覚えている方は、この機能を用いることで入力項目ツリーから該当する項目が見つけやすくなります。

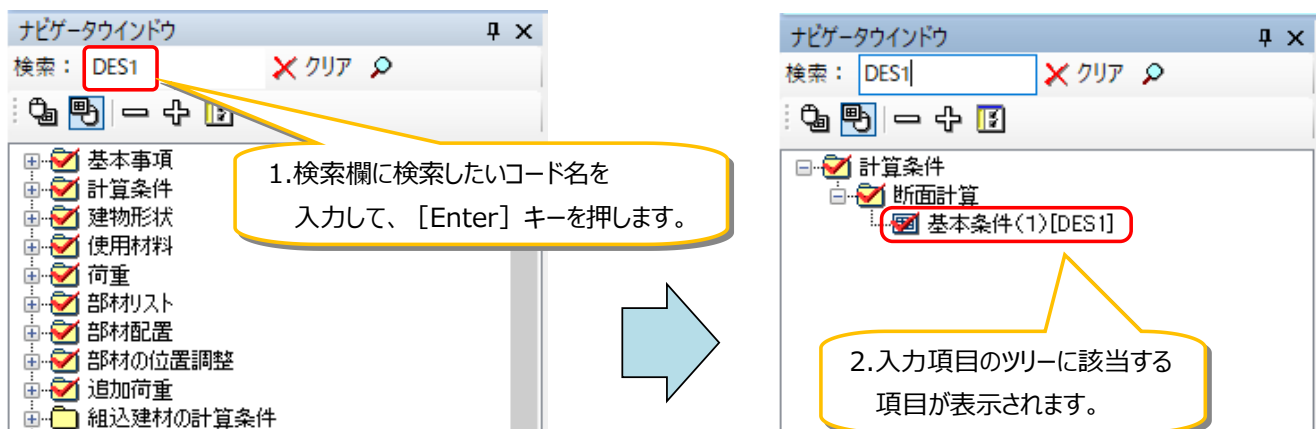


1. クリックします。

2. 「テキスト入力時のコード名」にチェックをつけて、[OK] ボタンをクリックします。

3. 入力項目ツリーの項目の末尾にコード名が付加されます。

なお、コード名で検索して、該当する項目を表示することも可能です。

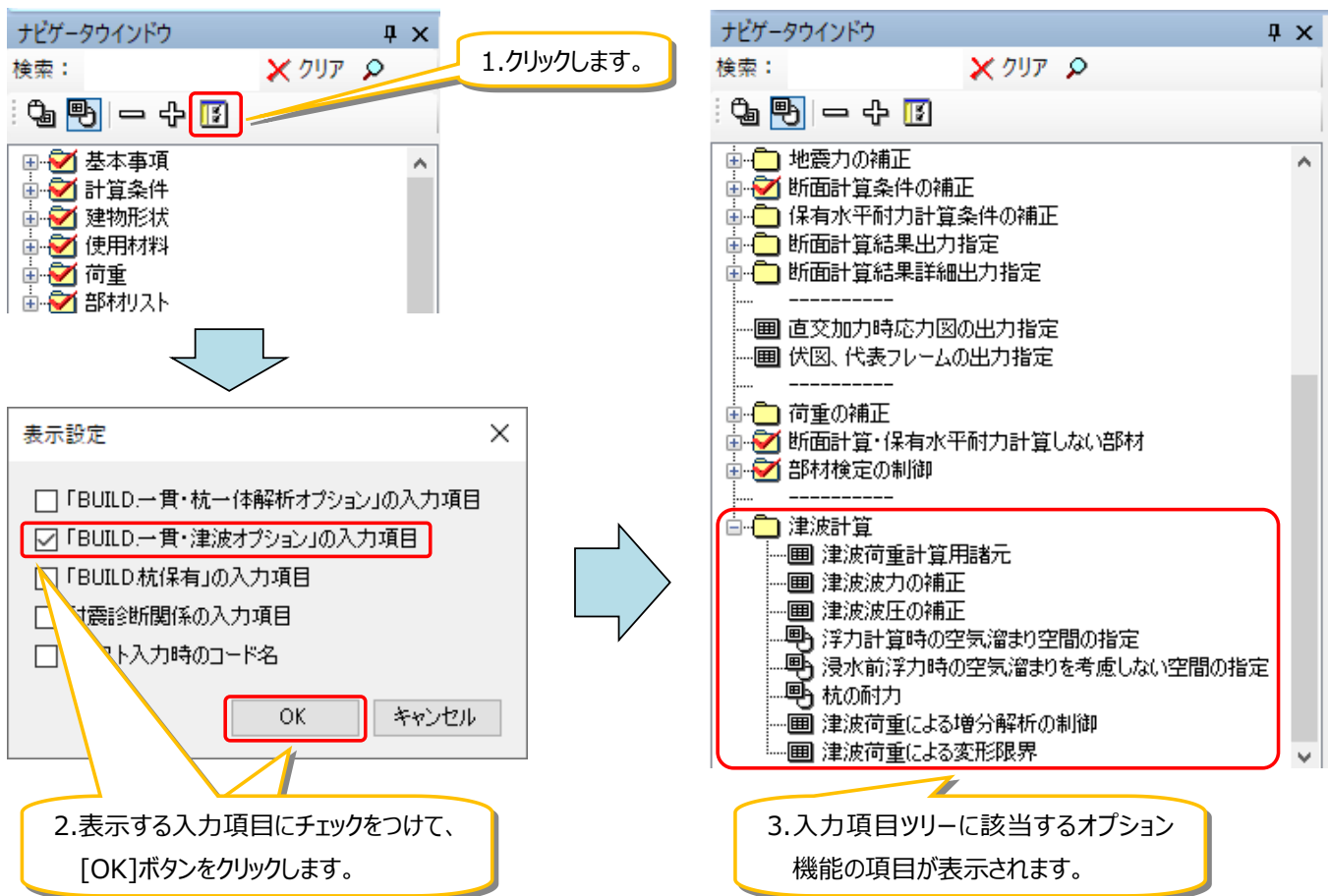


1. 検索欄に検索したいコード名を入力して、[Enter] キーを押します。

2. 入力項目のツリーに該当する項目が表示されます。

・入力項目ツリーに表示するオプション機能の設定

「BUILD.一貫VI」(Ver.1.13)より、入力項目ツリーに表示するオプション機能(「BUILD.一貫・杭一体解析オプション」「BUILD.一貫・津波オプション」「BUILD.杭保有」)の表示有無を設定できるようにしました。また、「BUILD.一貫VI」(Ver.1.17)では「BUILD.耐診 RC」シリーズおよび「BUILD.耐診 S造/2011年版」にリンクするデータを作成する時に使用できる耐震診断関係の入力に対応しておりますが、こちらの表示有無の設定も可能です。

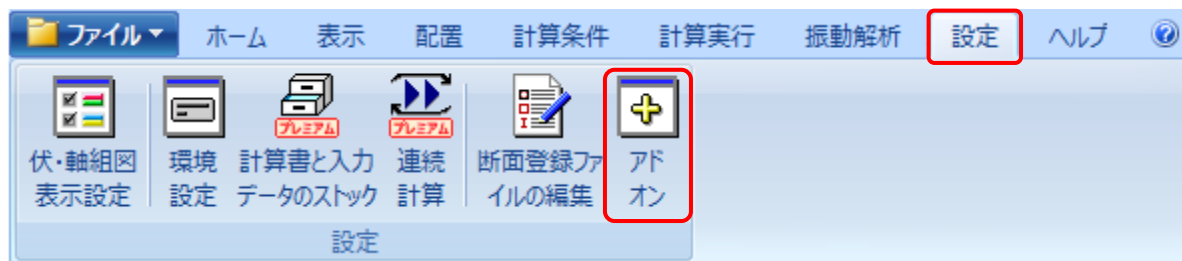


1. クリックします。

2. 表示する入力項目にチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックします。

3. 入力項目ツリーに該当するオプション機能の項目が表示されます。

入力中の物件で、使用予定がないオプション機能については上記のチェックを外すことで、ツリーに表示される項目が減り、見やすくなります。なお、インストールされているオプション機能は、リボンメニューの「設定」タブの「アドオン」で確認できます。



※ 「BUILD.一貫・杭一体解析オプション」の機能で計算を行うためには、「BUILD.一貫・杭一体解析オプション」のライセンスが必要です。

※ 「BUILD.一貫・津波オプション」の機能で計算を行うためには、「BUILD.一貫・津波オプション」のライセンスが必要です。

※ 「BUILD.杭保有」の機能で計算を行うためには、「BUILD.杭保有」のライセンスが必要です。

◆「BUILD.一貫VI」Q&A (適判等からの指摘事例)

タイトル : フカシの耐力評価について指摘された

Q. 入力項目ツリーの[部材配置]-[フカシ] (テキスト入力の場合は建物データの[P L M S]) を入力したところ、確認検査機関より、フカシをどのように耐力評価していますか?と指摘を受けました。どのように説明すればよいでしょうか?

A. フカシ部分には補強筋がないことを想定していますので、部材耐力には考慮していません。

フカシ部分に鉄筋が入る場合は、鉄筋重量、鉄筋剛性や鉄筋による耐力をどのように取り扱うかの判断も必要になります。ユーザーズマニュアル (ヘルプ) を参照の上、設計者判断にて対応してください。

【ユーザーズマニュアル Vol.3 (ヘルプ) の「2.1.7 (15) 部材配置-フカシ」より抜粋】

○フカシには100(mm)を超える値を入力することも可能ですが、フカシ部分に補強筋がある場合は、追加荷重等でモデル化して考慮するようにしてください。

フカシ部分に鉄筋が入る場合は、鉄筋剛性や鉄筋による耐力をどのように取り扱うかの判断も必要になり、補強断面として原断面に置き換えた断面とすることが望ましいと考えられます。

○フカシ部分には補強筋がないことを想定していますので、フカシ部分についての自重計算は鉄筋は考慮せず、コンクリートのみの重量で計算しています。

○[計算条件]-[部材剛性]-[基本条件] (許容応力度計算データの [B A S 5]) で重量・剛性におけるフカシの扱いを指定できます。デフォルトでは重量・剛性に考慮します。重量計算・剛性計算の制御の指定によらず、フカシの指定により、仕上重量に影響があります。

○壁開口の入力で、開口を面おさえて入力する場合は、フカシの指定によらず原断面の面が基準位置となります。

○部材耐力にはフカシを考慮しません。

○フカシの指定位置は以下の通りです。柱はX方向またはY方向のどちらの通りで指定しても構いませんが、d1~d4の位置に留意してください。円形断面に d2~d4の指定がある場合は無視します。

※ [弊社ホームページの Q&A](#) では、この他にも、適判等からの指摘事例の Q&A を 310 件以上、通常の Q&A を 3840 件以上掲載していますので、ご活用ください。なお、Q&A の閲覧は、[トータルメンテナンス](#) を契約中のお客様限定となります。